

社会貢献・地域連携等の推進（2016年度）

〔大学・短期大学部〕

（1）大学・短期大学部公開講座の実施

実践女子大学・実践女子大学短期大学部公開講座
＜渋谷キャンパス＞

学部・学科	日時	タイトル	参加者数
文学部 英文学科	10月15日(土)	「文学」から離れて文学を考える -「事実」と「フィクション」の間	40名
文学部 国文学科	10月29日(土)	宮沢賢治生誕120年記念 宮沢賢治の愉しみ・研究の現在とこれから	200名
人間社会学部	12月3日(土)	どうする？どうなる？女性のキャリア -仕事×育児×介護の時代	20名

＜日野キャンパス＞共通テーマ「暮らしを楽しむ・暮らしを考える」

学部・学科	日時	タイトル	参加者数
生活科学部 現代生活学科	10月1日(土)	C S R女性会議	137名
生活科学部 生活環境学科	10月1日(土)	超快眠法	40名
生活科学部 食生活科学科	10月22日(土)	スパイス・ハーブを使って食生活を豊かに	32名
生活科学部 生活文化学科	11月18日(金)	社会の中で大人は支えあえるのか	7名

（2）大学生涯学習センターによる生涯学習の推進

本学の教育資源を活用して広く社会に寄与するための教養講座等を、渋谷キャンパス、日野キャンパスの2キャンパスで開講しています。前期（4月～9月）は、40講座677名が受講し、後期（10月～3月）は、37講座647名が受講しました。また、次年度に向けて、受講者の知的ニーズに応えられるように新規の講座を増やす計画を立てました。

（3）日野市、渋谷区、恵那市（岐阜県）との地域連携活動

①日野市

日野市との連携活動は地域連携推進室が窓口となり、平成26（2014）年度から開始した「ひのプロ」の活動など教員中心に実施してきましたが、平成28（2016）年度は職員、学生ボランティアを含め地域貢献活動を活性化することに努めました。また、日野市の職員の名刺を本学学生がデザインしたり、市内一斉清掃に学生・教職員が協力したり、地域コミュニティ活性化のための様々な事業に参加するなど、活発な連携活動を行いました。

②渋谷区

渋谷キャンパス近隣の常磐松小学校放課後クラブにて、学生が絵本の読み聞かせや英語での活動を行ったり、ネイティブの教員による小学生向け英語レッスンを行ったりしました。また、コミュニティFM「渋谷のラジオ」に学生ボランティアが出演し、本学の取り組みや女子大生から見た渋谷の街と文化の紹介を行いました。

③恵那市

学祖下田歌子生誕の地・岐阜県恵那市では、恵那市市民大学連携講座において「食育講座」「江戸の文化講座」を開催しました。また、岐阜県恵那市先人顕彰事業として、恵那市ならびに本学園等主催の「第14回下田歌子賞」を実施しました。平成29年3月に行われた岩村町「ひな祭りオープニングイベント」に、おんな城主役の学生を派遣しました。

(4) (社)ネットワーク多摩の活動への参画

ネットワーク多摩の事業の内、「多摩未来奨学金」や「まちづくりコンペティション」への学生の参加等を進めています。平成 28 年 (2016) 度「まちづくりコンペティション」本選において、現代生活学科の学生が奨励賞を受賞しました。

(5) 大学図書館の地域連携活動

平成 26 (2014) 年 10 月に渋谷キャンパスに向田邦子文庫展示室を開設し、一般に公開しています。平成 28 (2016) 年度は、前年度に引き続き前期に「向田邦子を知る④交流のあった人たち～旧蔵書 署名入り本より～」(4 月 1 日～7 月 27 日)、後期には「向田邦子の好きなもの①日常使いの器と料理」(8 月 1 日～平成 29 年 3 月 24 日) 展示をおこないました。

日野市立図書館との協力では、本学において「日野市立図書館ヤングスタッフ」(日野在住、多摩地区在学の学生を中心とした読書推進グループ) との『本の交流会』(ブックトーク、図書館見学会、平成 29 年 1 月 28 日) を実施しました。

(6) 産学連携活動等の実施

平成 28 (2016) 年度は、企業等との連携事業活動に教員、学生が積極的に参加しました。

- ① 株式会社ゲイトと協定を締結しキャリア教育の実施 (高橋意智郎准教授)
- ② 富士ゼロックス株式会社との古典籍学習ツールの開発と百人一首 LINE スタンプの開発 (近藤みゆき教授)
- ④ 伊藤園の茶ッカソンに参加 (松下慶太准教授)
- ⑤ TOTO 株式会社の料理教室支援 (澤山茂教授)
- ⑥ 内沼きのご園とのシイタケを利用したレシピ開発 (奈良一寛准教授)
- ⑦ 株式会社スタイルブレッドとの「スープに合うパン」の研究 (佐藤幸子准教授、松岡康浩准教授)
- ⑧ 渋谷広尾商店街の活性化事業 (松下慶太准教授)
- ⑨ NEXCO 中日本との土産品開発 (塚原肇教授)
- ⑩ 日野駅前活性化活動 (下山肇准教授、塚原肇教授)
- ⑪ ルミネ立川との連携 (大川知子准教授)
- ⑫ 小倉メリヤス製作所との連携 (大川知子准教授)

(7) 大学間連携の実施

日野キャンパスでは、明星大学に設置された地域交流センターを核に日野市・多摩信用金庫・明星大学・本学の 4 者による意見交換会を 2 回実施しました。また、日野市大学連携事業として日野市の「第 50 回産業まつり」、明星大学「第 51 回星友祭」、本学「第 61 回常磐祭」のスタンプラリーを実施し、市民・両大学教職員・学生が 720 名参加しました。

特別事業計画の策定・実施による教育の活性化（学生を主体とした地域・社会連携）

今年度は各学科教員の指導のもと、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との大学連携協定に基づく実践女子大学としてのオリンピック・パラリンピック連携活動」、生活環境学科、食生活学科学生が「日野駅周辺のにぎわい創出に向けた取り組み」「日野駅周辺のにぎわい創出に向けた取り組み」「地域と世帯が協働する『災害時におけるダイエット・トリアージ・システム』の構築」の3つの事業を展開しました。学生がそれぞれの学部・学科での学びに関連した事業やイベントに主体的に参加して、学生の自由な発想で事業やイベントを提案し様々な問題点や困難を乗り越え実現していくことで、達成感や自信を持ち、社会貢献の意味を知る機会となりました。

担当	事業計画名	平成 28 (2016) 年度活動内容
学長室	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との大学連携協定に基づく実践女子大学としてのオリンピック・パラリンピック連携活動	授業における連携講座の実施と組織委員会とのタイアップは予定通り進行しました。「高大連携フォーラム」や「女子大生の視点から考えるフォーラム」なども多くの学生・高校生が参加しています。オリンピック・パラリンピックを通じて学生の社会人基礎力を高め、新たなキャリア教育の形を築くよう、さらに発展させていきます。
生活科学部	日野駅周辺のにぎわい創出に向けた取り組み	学生の新しい着想やエネルギーを日野駅周辺の活性化に役立てるため、各学科の学生が大学での学びに関連した事業やイベントに主体的に参加しました。学生が社会人との協働の機会を作ることでもでき、日野駅周辺のにぎわいの創出につながっています。
	地域と世帯が協働する「災害時におけるダイエット・トリアージ・システム」の構築	災害時の食料支援に関するダイエット・トリアージ・システムの構築を目指し、「ダイエット・トリアージ・カード」を開発しました。今後は改訂版を作成し地域との連携のなかでダイエット・トリアージ・カードを利用したダイエット・トリアージ・システムの構築に努めます。